



溶連菌（溶血性連鎖球菌）の感染は通常11月から4月にかけて流行しますが、今年は6月になってからも全国で流行が継続しました。警報を出し対策を呼び掛けている地域もありました。

溶連菌感染症とはどのような病気なのでしょう。

【溶連菌感染症とは】

通常、溶連菌が主にのどの粘膜に感染することによって起きる咽頭炎です。感染を受けてから2～5日間ほどの潜伏期間の後に、38℃以上の発熱、全身倦怠感、のどの痛みなどの症状が現れます。のどの腫れの外、舌の赤いツブツブ（イチゴ舌）、手足に赤い発疹が出ることもあります。



イチゴ舌



体幹・手足に痒みのある発疹



発熱・嘔吐のどの痛み

風邪のように咳や鼻水が出ないのが、この病気の特徴です。

【溶連菌の検査】

当院では迅速検査キットを用いて、溶連菌に感染しているかを調べます。長い綿棒でのどの粘膜をぬぐって検体を採取して行います。検査時間は10分程度です。

【治療】

抗生物質を5～10日間服用する必要があります。途中でやめると再発したり、リウマチ熱や腎炎を起こす事があります。決められた量をしっかり最後まで服用しましょう。

溶連菌は飛沫感染・接触感染するので、手洗い・マスク・うがいなど感染症予防措置が大切です。家族の中で溶連菌に感染している方がいる場合は、タオルの共有などもしないようにしてください。

◎登園や登校について◎

学校保健法では「条件によっては出席停止措置が必要と考えられる疾患」に分類されます。基本的には、抗生剤を服用後24時間以上たっていれば他の人へうつす事はほとんどなくなります。

札幌市の基準では抗生剤服用後1～3日後（主要症状が消失するまで）とされています。



ひとり親家庭等医療費助成が拡充されます

令和6年8月から、生計維持者が住民税非課税の場合の親（18歳以下の子どもの母親または父親）の通院医療費が、新たに助成対象となります。

対象の方には札幌市から7月下旬までに新しい受給者証が交付されますので、来院の際に健康保険証と併せて受付窓口に提示をお願いいたします。

また、現時点でマイナンバーカードにはひとり親家庭等医療費助成の情報が格納されていないので、マイナ保険証を使用して受診される場合にも、忘れずに受給者証をお持ちください。



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00						
14:00～18:00				休診		休診